

2 予定の伝え方の工夫 (スケジュール)

先の見通しを持つことや、予定の変更・調整が苦手な発達障がいの方に、いつ、どこで、何をするのか、また、予定の変更を見える形でわかりやすく伝えるためのツールです。スケジュールによって見通しがつくことで、自発的な行動へと繋がり、その人なりの自立へと繋がっていきます。本人が理解でき、操作しやすいものを作成することがうまくいくコツです。

本人がわかりやすい形での設定

- 本人がどんな指示だと理解できるのか (文字、写真、絵、具体物など)
- どれくらいの長さの見通しが必要か (次の1つ、2~3個、半日、1日など)
- どんなチェックの仕方が合うか (スケジュールそのものを手渡す、スケジュールの確認を促すカード (トランジションカード) を使う、自分でチェックなど)



3 片付けの工夫

道具に対して一対一で片づける場所を用意し、その場所にイラストや写真で対応する道具を示すことでどこに何を片付ければよいか分かりやすくなります。



展示期間中は、延べ324人の来場がありました。

「一人ひとりに合った“視覚化”が必要だとわかりました。(支援者)」

「子どもが過ごしやすいよう、工夫を生活の中に取り入れたい。(保護者)」

「ヒントがいっぱいでした。(保護者)」

などのお声をいただきました。

福岡市発達障がい者支援センター (ゆうゆうセンター)

〒810-0065 福岡市中央区地行浜二丁目1-6 TEL 092-845-0040 / FAX 092-845-0045